

S1-2

禁煙への取り組み

日本赤十字社和歌山医療センター 呼吸器内科副部長・禁煙外来担当

いけうえ たつよし
池上 達義

タバコの喫煙はがんや心疾患など多くの疾患の原因となり、先進国においては死因の第一位となっています。また受動喫煙による影響も深刻です。喫煙は寿命だけではなく健康寿命を短くすることがわかっており、健康長寿の取り組みの中でも、禁煙は最もプライオリティの高いものの一つとされています。

当院では日常診療における禁煙への取り組みとして、禁煙外来での禁煙サポートの提供を行っています。さらに職員の禁煙意識向上を目的として、当院敷地内禁煙後毎年、職員全員対象のアンケート、シンポジウム・講演会の開催、職員対象の卒煙講座の開催を行っています。また社会貢献として、県庁健康づくり対策課と連携して肺年齢チェックと禁煙啓発を世界禁煙デーの時期に市内のショッピングセンターで行っています。また和歌山市保健センター主催の市民対象卒煙講座に講師として参加しています。

近年我が国でも公共の場の禁煙化がすすみ、タバコ価格の値上げもあり喫煙率は低下傾向にありますが、まだまだ不十分です。病院は敷地内禁煙が当たり前になってきていますが、小規模事業所を中心に職場の分煙も十分とは言えません。医療者として専門的な立場から情報の提供、喫煙対策の提言を継続して行っていかなければならないと考えます。